

# おごおり 議会だより

No.201

令和7年2月号

## 花立山に昇る初日の出

- P 2～6 議会の動き
- P 7～14 市政を問う・一般質問16人
- P 15 議案審議結果一覧、賛否が分かれた案
- P 16 議員研修会、3月定例会の会期日程(予定)、編集後記

発行責任 福岡県小郡市議会

# 総務文教常任委員会

## ～ 行政視察 ～

令和6年11月5日～7日

### 【視察先】

- 兵庫県芦屋市
- 大阪府八尾市

### 兵庫県芦屋市

### インクルーシブ教育について

#### インクルーシブ教育の取り組み

各校に介助員を配置し、特別支援教育センターは専門委員を派遣して担任や介助員と連携し、きめ細やかな支援が行われています。また就学前から小中学校まで、保護者と連携を図りながら一貫した支援体制を構築しています。

#### 芦屋市立精道小学校を視察

オープンスペース型の教室が採用され、廊下と教室の仕切りがない開放的な設計となっていました。児童の特性に応じた空間作りであり、個々の児童のニーズに対応するインクルーシブ教育において大きなメリットがあると感じました。

#### 教員の視点から見た課題とメリット

通級学級担任と特別支援学級教員、介助員との連携不足や保護者との授業における対応などの課題はあるが、特別支援を必要とする児童に行う配慮は通常学級の他の児童にも有効である場合が多く、子どもたちの成長にとって双方にメリットがあると報告されました。



### 不登校等対策について

### 大阪府八尾市

#### 不登校等対策事業の取り組み

「誰一人取り残さない八尾の教育の実現」を掲げ三つの目標を軸に取り組みが進められています。

1. 新たな不登校児童を生み出さないこと。
2. 学校内外に居場所をつくること。
3. どこにもつながっていない児童生徒を減らすこと。

この目標を基本に「ほっとはあとサポート事業」が以下のコースで実施されています。

#### 6つのコース

1. オンラインd e居場所：仮想空間「メタバース」を活用し顔を出さずに学習交流
2. オンライン学習コース
3. ほっとはあとサポーター 派遣コース：大学生が子どもたちの学習や生活を支援
4. 居場所でほっとゆっくりコース：安心して過ごせる場所で自由時間や交流を通じ自己肯定感を育む
5. 教育相談コース：個別の課題に合わせた助言や支援を行う
6. さわかルーム（適応指導教室）：学習や集団生活の適用指導を提供。病気や不登校などで欠席している児童生徒が社会的自立に向けて歩み出せるように支援が行われています。



【視察先】

- 岡山県総社市
- 大阪府大東市

# 保健福祉常任委員会

## ～ 行政視察 ～

令和6年10月30日～31日

### 岡山県総社市

### 子育て王国まちづくり事業について

#### 9つの部会で福祉王国プログラムによる施策を実施

心の教育を重視し子ども本意で、支援が必要な子ども・家庭を地域全体で支える対策として「総社市子どもを虐待から守る条例」を軸とした地域ネットワークや子ども虐待SOSサポーターの養成等を行っています。

#### そうじゃ式早期一貫サポートシステム

「そうじゃ式早期一貫サポートシステム」による発達障害児支援や大学で外国人の利用を図るなど大学との連携や学生との交流など積極的な取組みがなされ、18歳までの経済的支援では「児童年金」や「遺児激励金」など市独自で取組んでいます。

#### 待機児童対策

基準面積112%までの受入や認可外保育所への補助金支払い、公立幼稚園の空き教室を利用して3歳以上の園児預かり保育と給食センターによる給食の実施で対応されています。



### 子育て支援について

### 大阪府大東市

#### 3部局の連携

他の自治体に先立ち、こども家庭センターを子育て担当部局と保健医療担当部局、教育部局の3部局が連携し、妊娠・出産・子育てに関する相談等の総合窓口として開設しています。妊娠期は、保健師が面談し、SSWにより18歳までの子育てに関する情報提供窓口として一本化されています。

#### ネウボランドだいたう

旧市民病院に設けられたこども家庭センター（ネウボランドだいたう）は、市役所っぽさをなくし明るく・楽しい開放的な空間で相談に来やすい雰囲気が工夫されています。



#### 送迎保育ステーション事業

待機児童対策として、市の予算で5～10人の利用者の送迎がなされており、中短期的な保育ニーズへの対応策として一定の役割を果たしています。

# 都市経済常任委員会

## ～ 行政視察～

令和6年10月22日～24日

### 【視察先】

- 岐阜県羽島市
- 兵庫県高砂市
- 広島県三次市

### 岐阜県羽島市

## 大型商業施設及びインターチェンジ などを含めた土地利用について

### インター周辺の道路整備が行われていました

2015年に東海地区で2番目となるコストコ羽島倉庫店とショッピングセンターが開業したことで、新幹線岐阜羽島駅、名鉄新羽島駅周辺を中心に地価が上昇し、県内で上位にランクインしています。インター周辺の土地利用や西鉄小郡駅周辺の活性化などの参考になりました。



## 総合治水の推進について

### 兵庫県高砂市



### 総合治水条例を施行

「ながす」は、洪水対策として河床掘削や護岸改修工事を実施し、高潮対策として排水機場・防潮水門の建設に取り組み令和6年3月に完成しました。

「ためる」は、市内33か所のため池に県と連携し、事前放流に必要な放流施設を整備しました。

「そなえる」は、災害時訓練や学習会の開催、防災機材の整備と確保に取り組み、自主防災組織結成の推進をしています。

### 広島県三次市

## 内水対策事業について

### キリリパーク（五龍川貯留施設）での豪雨対策事業

「キリリパーク（貯留量7600m<sup>3</sup>）の建設に取り組み令和4年8月に完成しています。平常時には三次市市民ホールの駐車場として利用され、現在は第2貯留施設（20300m<sup>3</sup>）が建設され内水浸水軽減に期待されています。



【視察先】

- 三重県四日市市
- 滋賀県野洲市

# 議会運営委員会

## ～ 行政視察 ～

令和6年11月13日～15日

### 三重県四日市市

### 議会改革について

#### 議会DX推進ツール「まちだん」について

議会のホームページに設置している「まちだん」のページは議会の情報発信やコミュニケーションツールとして半年間の実証実験を行い、その評価を検証している段階でした。

議会HPに議員の30秒動画を掲載したり、議員一覧から個別に市民相談ができるなどユニークで魅力的なツールが沢山ありました。

#### 議会モニター制度について

地区からの選出に加え、市民公募や大学生など1年の任期で最長3年まで再任できる制度です。

本会議や委員会の傍聴・議会だよりの内容確認などを行ってもらい、意見を聴取するもので、年1回のモニターと意見交換を行い、議会改善を行うものです。その他、審査前に議案に対する市民からの意見や委員会の調査テーマを市民から募集するなど興味ある取組みも見られました。



### 議会改革について

### 滋賀県野洲市

#### 「市民懇談会」と「出前懇談会」2つに区分し再スタート！

それぞれの懇談会は以前よりテーマ性を優先した聴取となっており、議会から団体等に開催をお願いしたり、市政運営での重要案件等に絞って懇談会を開きこれまでより視点を変えた取組みが行われています。

#### 「出前懇談会」について

市内在住で5人以上の団体が、テーマを明らかにして議会へ申し込みし、そのテーマに応じて出席議員の選出を行います。テーマは、まちづくりの在り方や福祉を中心としたものが多いです。



#### 「市民懇談会」について

行政側が行き詰まっていた「文化3施設の在り方について」をテーマとして2会場で行われ、的を得た開催に繋がったようです。また会場では市民との意見交換やワークショップを行い、内容を取りまとめ執行機関へ伝えたことで執行側の政策決定の後押しとなった成果も見られました。

↓ 討 論

議案第52号 旧松崎旅籠油屋設置条例の制定について

議案内容

「旧松崎旅籠油屋」をこれまで市指定有形文化財かつ「文化財公開施設」として活用を図ってきた。しかし、コロナ禍もあり活用が停滞している。目的や実施事業などを明らかにし、文化財だけでなく、「公の施設」として明確に位置付け、市民の共有財産であり、積極的な活用を促すために条例を制定する。

営利目的の場合であっても団体、個人に関わらず使用料を徴収しないとのことだが、公共施設の維持・管理及び修繕等は市税で行っている。この部分を比較すると整合性と公平性に欠けている。

反対



後藤 理恵



甲斐田 典彦

賛成

市指定文化財として更なる向上及び発展のために、文化財としてだけでなく「公の施設」として明確に位置付け、もっと市民に訪れてもらうため、施設の活用を促進するための条例制定だ。

建物の利用を活性化させるために、市としてどのような利用方法で進めるのか明示するためとしながらも、設置目的である油屋の保存と活用を図ること、市民文化の向上及び発展に資することが達成されるのかが疑問だ。

反対



小坪 輝美



川野 悦子

賛成

油屋は、松崎地区を中心とした地域文化の象徴であり、住民が誇りを持てる大切な文化財だ。本条例の制定により法的に位置付けられ安心して利用できる環境が整う。本条例には特段の問題は見当たらず地域の将来に向けた基盤づくりとして適切な内容だ。





みらいの会  
黒岩 重彦



**議員** 新体育館建設に伴う市民の影響は

**市長** 駐車場については、工事期間中はこれまで同様に近隣駐車場管理者へ協力を

仰ぎ、併せて大分自動車道高速道路高架下の活用についてもNEXCO西日本と協議をしている。

解体による粉塵で石綿アスベストは心配なのか。

**部長** 外壁塗装などの部分について分析調査を実施しながら解体を行う。

ハローワークはこれまでどおり施設内で業務を継続し

てやれるのか。

**部長** 令和9年度に現体育館の解体と併せて撤去する予定で、事務所の移転先を関係部署と協議をしている。

**議員** 今後の防犯灯及び防犯カメラの整備は

**市長** 広域防犯灯は、地域と協議の上、今後整備に取り組んでいく。また、防犯カメラは、駅周辺を中心に14箇所21基を整備しており、

今後も警察署と協議しながら検討していく。

行政区が設置する防犯灯と広域防犯灯の違いは。

**部長** 往来が多い通学路とか、自治会の区域境など有益性、必要性により判断して、広域防犯灯と位置づけ、市の方で設置、管理をしている。

デジタル安全・安心防犯マップの作成はしないのか。

トは間に合うのかを問う。

**部長** 具体的な方針もなく、現状から非常に難しい。

間に合わない時の対策は。

**部長** 今は回答出来ない。

鳥栖では産業団地として令和12年から販売予定。小郡も開発は緊急の課題では。

**市長** 小郡も鳥栖と同じ様に

**部長** 自治体DXを進める中で、公開型のGISは検討している。



工事期間中、市民利用の規制が予想される市体育館



高木 良郎



**議員** I-C周辺の現状と治水対策を問う

**市長** 治水対策については、協議を進めているが、解決策が見い出せていない。

治水対策を下水道事業で実施するときの費用を問う。

**部長** 約30億円の予定で市の負担は8億7千万円だ。

治水対策に対する地権者・耕作者の同意の現状を問う。

**部長** 農振除外についての同意はとれていない。

治水対策は下水道事業で行うと決定させたのは加地市

長だ。全体の地権者との今後の取組みを問う。

**部長** 具体的には出来てない。

土地利用計画の策定・開発の手法、農振除外や河川法の手続きは市で行う事だ。今後の方向性を問う。

**部長** 市の方向性を決めるのに難航している。

令和7年度のタイムリミット

準備を進めるべきだが、治水の課題がある。責任を持って取り組んで行く。



福童地区が耕作者のいない農地にならない開発を。



おごおり創志会  
川野 悦子



**議員** 手話言語条例を制定する考えを問う

**市長** 県の条例との整合性を図りながら、本市の状況を踏まえた内容を追加するな

ど、本市独自の手話言語条例の制定に向けて取り組んでいく。

**市長** 市主催の講演会や市民まつり等で手話通訳者派遣の検討は行っているのか。

**部長** 今後は企画段階で手話通訳の必要性や派遣について検討を行い、必要と判断された場合には可能なものから手話通訳を入れていくよう取組を進めていきたい。

聴覚障がいの方々からの要望等に対しては、どのように反映しているのか。

**部長** 今年度は手話通訳者派遣の処遇改善に向けて予算要求しているところだ。

**部長** 3月に一般質問した障がい者に対する災害避難の対策について現状はどのように進んでいるのか。

クフス内の筆談ボードや障がい者のためのマニュアルを改めて確認している。

**部長** 避難所で孤独や不便さを感じないよう、災害時コミュニケーション支援ボードの設置をしようか。

**部長** コミュニケーション支援ボードは取入れる。コミュニケーション支援ボードを行政窓口にも設置

できないか。  
**部長** 前向きに検討していく。



手話言語条例を制定し共生社会の実現を！



公明党  
甲斐田典彦



**議員** 子宮頸がん撲滅に向けた取り組みは

**市長** 国はキャッチアップ最終年度高校1年生相当が3月まで1回接種すれば更に

1年費用が無料に。定期接種は小学6年生へ通知。

**小都市の接種率は。**

**部長** キャッチアップ初回接種率は34%、3回完了率は18%、高1(16歳)は初回44.7%、完了12.5%。

**接種後の副反応の報告は。**

**部長** HPVワクチンの健康被害の報告はこれまでにない。

聴覚障がいの方々からの要望等に対しては、どのように反映しているのか。

**部長** 今年度は手話通訳者派遣の処遇改善に向けて予算要求しているところだ。

**部長** 3月に一般質問した障がい者に対する災害避難の対策について現状はどのように進んでいるのか。

クフス内の筆談ボードや障がい者のためのマニュアルを改めて確認している。

**部長** 避難所で孤独や不便さを感じないよう、災害時コミュニケーション支援ボードの設置をしようか。

**部長** コミュニケーション支援ボードは取入れる。コミュニケーション支援ボードを行政窓口にも設置

できないか。  
**部長** 前向きに検討していく。



手話言語条例を制定し共生社会の実現を！

**部長** 小郡警察署と対策、そして市がどういふことができるか協議、行動する。

**部長** キャッチアップは2383人、高1は163人個別通知を年明け対応する。

**議員** 詐欺被害防止の取り組みは

**市長** 防災メール、SNSによる情報提供、広報紙で市民に周知啓発を行っている。

特殊詐欺の現状を尋ねる。

**部長** 被害件数10件、被害額4026万8千円。

消費者問題の知識を深める為の出前講座の実施状況は。

**部長** ふれあいネットワーク高齢者サロンで令和6年現在10回、約190人参加。

不審電話は固定電話に約9割。防犯対策電話機を設置後は被害なし。この購入支援ができないか。







佐々木益雄



議員 「ワンヘルス」の推進について問う

市長 人獣共通感染症対策、生物多様性の保全、ごみ減量対策、食育、地産地消等、

特に特定外来生物の倍受等様々な分野ワンヘルスに繋がる取り組みを進める。

ワンヘルスの推進には6つの柱があるがその対策は。

部長 ①人獣共通感染症対策は、感染源、感染経路、宿主等の対策が必要、②薬剤耐性菌対策は、アクションプランにより普及啓発、動向調査、感染予防、抗微生物質の適正使用、研究開発、

薬剤耐性対策等の推進、③

環境保護は生物多様性の保

全、地球温暖化対策の取組

④人と動物の共生づくりは、

狂犬病予防接種、感染症予

防、⑤健康づくりは、市民

の自主的、主体的健康づく

り活動、⑥環境と人と動物

のよりよい関係づくりは、

おごおり健康・食育プラン

に基づき健康保持、増進、

栄養、食育の推進。

ワンヘルス推進宣言の取組

状況、県内の取組状況は。

部長 昨年6月1日推進宣言を行い、県と連携協力、実践施策を推進。県内32自治体が宣言決議している。

今後のワンヘルスの推進への取組は。

市長 人と動物の健康、健全な環境の調和、感染症や病気、自然災害や環境問題等私たちの生活に密着した

様々な問題があり、県の推進行動計画に基づいた上で積極的に参画していきたい。



か考えていきたい。



おごおり創志会 佐藤 源



議員 小郡市が目指す子ども・子育て支援は

市長 小郡市こども計画を今年度中に策定し、以降5年間の方向性を示す。こども

計画により、こども家庭支援センターを核としてオリジナルのこどもまんなか社会をつくっていききたい。

計画をつくる際の、子育て世代の要望・ニーズの把握はどのようにするのか。

部長 アンケート調査、子ども・若者を対象としたワークショップの開催、二十歳のついででの意識調査などを考えている。

保育ニーズが高まっているが、対応できるのか。

部長 今後、令和8年度には

「こども誰でも通園制度」

も始まり、新たなニーズも

生まれてくるので、待機児

童問題対策に引き続き取り

組んでいく。また、様々な

課題に対応した公立保育所

のあり方について小郡市幼

児施設審議会に諮問をして

いる。

幼稚園ニーズは減少すると思われるが公立幼稚園の今後についての考え方は。

部長 幼稚園ニーズの減少は

保護者のニーズに合った対

応ができていないことがあ

る。この部分も幼児施設審

議会で審議をお願いしてい

る。保護者ニーズに合った

新たな保育機能を充実する

ことによって幼稚園につい

ても受け入れ態勢の充実を

図っていくことができない





おごおり創志会  
小野 壽義



**議員** 小郡鳥栖南一C周辺  
企業誘致取組みは

**市長** 旧県道鳥栖朝倉線の南  
側を活性化産業ゾーンに位  
置づけている。周辺は浸水

地域のため治水対策を国の  
補助金を活用した下水道事  
業を予定している。

企業に貯水池を造るよう建  
設指導は行うか。

**部長** 県が定める都市計画法  
に基づく審査基準で開発協  
議を行い、協力を求める。

同地区は毎年浸水被害が起  
きており、県の基準より  
ハードルを上げた方がよい

と思うが。

**部長** 開発後に浸水被害が悪  
化しないよう、市独自の設  
置基準制定を進めていく。

**議員** 雨水貯留タンクの  
取組みは

**市長** 雨水貯留タンクは、雨  
水を溜めて河川の負担を軽  
減する効果があり、流域治  
水の考え方から、浸水対策  
に有効と考える。

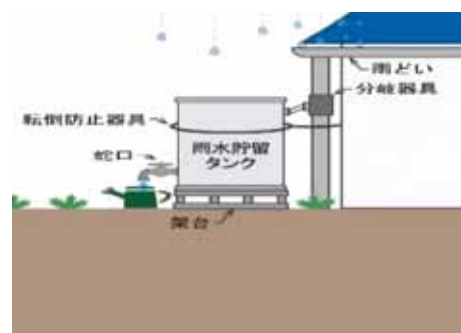
市役所や体育館など公共施  
設にタンクの設置は可能か。

**部長** タンクの規模や排水の  
取り方を検討すれば、可能  
と思う。

小学校の水泳授業が委託に  
なるが、プールは貯水池に  
なる。25mのプールで60  
0mの水が溜められるが、  
利用はできないか。

**部長** 安全性や衛生上の環境

面を考慮し、治水対策の1  
つとして関係各課と協議を  
していく。



雨水貯留タンク

**教養** 随時相談できる環境が  
でき、周知を図っている。



新原 善信



**議員** 切れ目のない  
子育て支援は

**市長** 子ども家庭支援課を創  
設しあすてらすの同じフロ  
アに担当課を置き連携を強

化した。また、相談窓口や  
子ども広場など支援拠点を  
リニューアルした。今後、  
センターを中心に妊娠期か  
ら子育てまで切れ目のない  
支援に努める。

気軽に相談に立ち寄れる場  
づくりをどうするか。

**部長** 相談の心理的ハードル  
を下げるため、来訪者にコ  
ミュニケーションをとるな  
ど改善していきたい。

病児・病後児保育の現状は  
どうか。

**部長** 5年で約10倍に増え、  
人材確保、財政的課題があ  
る。

**議員** 不登校支援センター  
の機能強化を

**教養** 教室に入ること抵抗  
のある児童の学習支援、教  
育相談、居場所の確保を目  
的に、4小学校に校内教育  
支援センターサポートルー

ムを設置した。環境が整つ  
たことで子どもたちに変化  
が見えてきた。今後、さら  
に検討改善していく。

運営で最も大切にしている  
ことは何か。

**部長** 行きやすい教室、安心  
できる居場所であることを  
特に大切にしている。

保護者への支援は どうして  
いるか。



こども広場「ことこと」



みらいの会  
内山 伸博



**議員** コストコ周辺道路整備の現状と課題は

**市長** 筑後小郡インター周辺では近年の開発などによる土地利用が活発化しており、

それに伴う物流関連や大型商業施設による交通量の増加に対する安全対策が必要だ。今後の開発の状況を注視し、インター周辺の安全が保てるよう計画的な道路整備を進めていく。

**市道30号線三軒屋から井上第一・二住宅入口交差点までの整備について問う。**

**部長** 令和5年度より区長会や立石小・中学校のPTA、

小郡警察署と協議を行い、安全対策として、中央線を抹消することで令和7年3月までに現在の40キロから30キロの速度制限に変更予定。

**市道10号線の注意喚起看板の設置について問う。**

**部長** 看板は、コストコオーブン前に通学路であることを運転手に視覚的に訴え、交通安全を促すために地元

と協議の上で10号線、30号線の8地点に24箇所、市で設置している。

**市道10号線のコストコの4箇所出入口と誘導員について問う。**

**部長** 出口2箇所、入口2箇所が設置され、コストコにより安全面への配慮から場内に平日3人、土日6人程度交通誘導員が配置されている。また、広域でも配置



市道30号線（注意喚起）看板

され、交通事故がないように交通誘導を図っている。



橋間 順平



**議員** のーと小郡の公共交通について尋ねる

**市長** 運転手不足や不採算路線の減便や廃止で、移動手段の確保は深刻である。公

共交通は、買物や通院の生活交通と考えている。

**距離別運賃方式の料金は。**

**部長** 2キロ未満は、運行効率や利用者が多いよう、運賃200円と低く設定した。

**交通弱者への救済措置があるべきでは。**

**部長** のーと小郡の割引運賃の検討は行っていない。

**のーと小郡の経費を問う。**

**部長** 初期導入費用は年間約5千万円、一般財源より3千万円の歳出、キャッシュレス決済の費用も発生する。

**議員** 市の発注の施工管理について問う

**市長** 工事は、地元や関係機関と協議を行い、合意、確認を得て、工事を発注し、環境や安全に配慮した工事の発注管理に努めている。

**野鳥の生息環境に配慮した工事について問う。**

**部長** 市が、ため池管理者に代わって、工事の発注、施工管理を行っている。環境に配慮しながら、池干しの期間に工事を行う。

**公園の除草剤の散布について、市の考え方を問う。**

**部長** 土壌に、成分が残らず、人畜環境に優しい薬剤と認



すべての野鳥がいなくなった

識している。水生植物や生物等の周辺環境に影響を及ぼさないように努めている。



日本共産党  
小坪 輝美



**議員** 自治会への加入率低下についての見解は

**市長** 様々な事情により未加入の方がおられることは把握している。市民生活の多

様化や人口減少社会の中で持続可能なまちづくりのためには、住民自治である自治会活動はますます重要になっていくと考える。

**未加入者に対する広報・選挙公報等の配布は。**

**部長** 区との委託契約に基づく事業である。加入有無にかかわらず配布することが必要であると説明している。

人手不足や担わなければならない役割が多い。区振興費の引き上げの検討は。

**副長** 今後区長会と協議していく。

**議員** 子ども医療費助成、今が決断の時では

**市長** 令和7年度中にシステム改修に関する予算を計上し着手していく。

子ども医療費助成に対する

見解は。

**市長** 子どもの健全な成長の確保と子育て家庭の経済的負担の軽減のため、県の補助制度を活用しながら実施している。

**着手する子ども医療費助成の具体的な内容については。**

**部長** 現時点では、実施時期・実施内容について検討段階である。



みらいの会  
山田 忠



**議員** 基本法の改正を受け、市の施策の展開は

**市長** 食料・農業・農村基本法改正の趣旨や国が策定する基本計画の内容を踏まえ、

来年度、市が策定予定の基本計画の中で具体的な施策については検討していく。

**法改正の中にスマート農業の加速化を図るとあるが、現状と今後について問う。**

**部長** 県の補助事業である園芸農業DX推進事業と水田農業DX推進事業を活用して支援を行っている。引き続き県の補助事業を活用して取り組んでいく。

人・農地プランに代わる地域計画策定が義務付けられたが、現状と課題について問う。

**部長** 農地の拡大・縮小等の意向を確認するための調査を行い現況図・意向確認図を作成した。農業従事者の高齢化に伴う担い手の減少が課題と捉えている。

今後地域計画を進めるにあたってのスケジュールは。

**部長** 10年後の耕作予定者を目指し、令和7年1月頃に地区計画案を作成する。その後3月には地域計画を策定する。

**基本法の中に、農地や地域の保全に関する条文が追加されているが、どのようにとらえているか。**

**部長** 農業者だけでは農地や農業施設の維持管理が難しくなってきたことから、地

域全体で農地を保全していく取り組みを促進していく目的で追加されたもの。



集落組織の共同活動



公明党  
田中 雅光



**議員** これまでの聴覚障害者支援について問う

**市長** 障がい理由とする差別の解消の推進に関する職員対応要領を平成28年に策



おごおり創志会  
大場 美紀



**議員** 「七夕の里おごおり」取り組みの課題は

**部長** 季節限定や地域限定のイメージが強く、市全体に広がりにくい。

定し、市主催の講演会や試験などに手話通訳や要約筆記の派遣や職員に対し聞こえのサポーター養成講座を開催し、聞こえの不自由な方に対して筆談ボードなどで対応する合理的配慮の提供を行ってきた。

**課長** 庁舎内において手話通訳の遠隔サービスを取り入れることについて問う。

**課長** 庁内での遠隔サービス

それらの課題を解決するために叶え星文様にこめられた想いを活かし、新たな戦略につなげるべきでは。

**部長** そのように思う。叶えたい願いを応援するまちとして、叶え星文様の活用を広めていきたい。

**部長** 子どもたちを中心とし

**部長** 子どもたちを中心とし

については、他市の事例等を調査研究して、検討させていただきたい。

**課長** 費用対効果を調査研究して、当事者の意見も聞きながら検討したい。

**課長** 子どもたちが手話を学ぶことはカリキュラムとして非

たプロモーションをはじめ叶え星文様を活用したイベント、商品開発、情報発信を行い地域活性化につなげる取り組みを進めていく。

**議員** 子ども家庭支援センターの今後の課題は

**部長** 新たな体制整備はできたが、この体制を有効に機能させていくこと。職員目線ではなく市民目線で考えていくことを、職員が共通認識をもちながら部署間で

常には重要ではないか。

**教養** 子どもたちは日常的に使つことで、手話は人とながらための言語の1つの形であることを理解しながら過ごしていく、そこを大事にしたいと思う。

**課長** 小郡市聴力障害者福祉協会や小郡手話の会からも

の連携を充実していかなければならない。

**課長** 現時点では県事業の紹介や周知を行っている。今後は若者世代の意見を聞き具体的に取り組んでいく。

子ども広場の照明が暗い。使いつらいなどの対応は。

**部長** 照明は、2月にLED工事が完了。他の課題も計画的に改善していく。

条例案を頂いているので、早い段階で提案していきたいと考えている。





みらいの会  
後藤 理恵



**議員** マイナ保険証の  
安全性は大丈夫か

Cチップの部分には、税、年金、医療情報等の個人情報  
報は記録されていない。ま  
た、顔写真もついているの  
で、基本的に悪用は難しい  
ものとなっているので、安  
心して利用いただける。

そして、手続きなしに高額  
医療費、高額医療の限度額  
を超える支払いは免除され  
る。また、顔写真付きなの  
で、医療機関や薬局で本人  
確認の精度が向上する。

めに、パソコンで紐付けの  
支援等のお手伝いをさせて  
頂いている。

を持っていての方を対象に毎  
年更新時に発行される。両  
方とも申請不要である。

マイナ保険証を利用するメ  
リットについて問う。

本市にはマイナポータルサ  
イトに対応する端末は置い  
ているのか。

**課長** 「資格確認書」はこれ  
までの健康保険証に変わる  
もので、マイナ保険証をお  
持ちでない方を対象に12月  
2日以降に有効期限内に発  
行している。「資格情報の  
お知らせ」はマイナ保険証

**課長** マイナンバーカード自  
体にはプライバシー性の高  
い情報が入っていない。一

**課長** 薬剤情報や特定健康診  
査の情報を基に、より良い  
医療を受けることができる。

**課長** マイナンバー総合支援  
窓口では、マイナポータル  
から手続きが困難な方のた

**警長** 令和元年の調査開始  
時は、小学校6年生で57.  
4%、中学校3年生で36.  
1%であったが、令和6年  
度は小学生83.5%、中学  
生74.2%と向上している。

りの中ですばらしい協働の  
姿が見られている。



おごおり創志会  
立山 稔



**議員** 小・中学校で規模に  
関わる課題への対応は

では学習支援員、特別教育  
支援員等を複数配置し教育  
体制整備を行っている。

市内の児童・生徒の学力の  
状況と指標は。

**警長** 9年間を通じたカリ  
キュラムをベースに、小・  
中合同遠足やダンスプログ  
ラム。また地域とのつなが

**部長** 小規模校魅力化推進事  
業はGIGAスクール開始  
以前よりタブレットを配備  
し先行的にICT教育に取  
り組み、プログラミング授  
業を実施した。

**教員** 全国学力・学習状況調  
査の結果でいうと、令和6  
年度で小学校の国語は10  
7.4、算数は103.0、  
中学校国語は103.4、  
数学は103.6と、どの  
教科でも国・県の平均値の  
100を超えている。

**警長** 「資格確認書」と「資格情  
報のお知らせ」の違いは。

**警長** 小規模校ではICT教  
育の先行実施やオンライン  
英会話。中規模・大規模校

社会貢献意欲や自尊心の  
面ではどうか。



マイナ保険証

## 令和6年12月定例会 議案審議結果一覧

議案番号	事 件 名	審議結果
報告第14号	専決処分を報告し、承認を求めることについて (小郡市重度障がい者医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例)	承認
報告第15号	専決処分を報告し、承認を求めることについて (令和6年度小郡市一般会計補正予算(第4号))	承認
議案第50号	松崎宿油屋保存整備基金条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第51号	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	可決
議案第52号	旧松崎旅籠油屋設置条例の制定について	可決
議案第53号	令和6年度小郡市一般会計補正予算(第5号)の承認について	可決
議案第54号	令和6年度小郡市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)の承認について	可決
議案第55号	令和6年度小郡市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)の承認について	可決
議案第56号	令和6年度小郡市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)の承認について	可決
議案第57号	令和6年度小郡市下水道事業会計補正予算(第3号)の承認について	可決
議案第58号	損害賠償の額を定め和解することについて	可決
議案第59号	小郡市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第60号	小郡市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第61号	特別職の職員で常勤のもの給与、旅費及び退職手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第62号	小郡市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第63号	小郡市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第64号	令和6年度小郡市一般会計補正予算(第6号)の承認について	可決
議案第65号	令和6年度小郡市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)の承認について	可決
議案第66号	令和6年度小郡市介護保険事業特別会計補正予算(第4号)の承認について	可決
議案第67号	令和6年度小郡市下水道事業会計補正予算(第4号)の承認について	可決
同意案第32号	監査委員の選任について	同意
議員提出第5号	再審法改正の促進を求める意見書の提出について	可決

### 【賛否が分かれた案件】

●議長（井上勝彦）は表決に参加しません。（賛成…○、反対…×）

議 員 名	川野	内山	黒岩	甲斐田	橋間	佐藤	深川	小坪	小野	高木	大場	立山	後藤	佐々木	田中	山田	新原
	悦子	伸博	重彦	典彦	順平	源	博英	輝美	壽義	良郎	美紀	稔	理恵	益雄	雅光	忠	善信
議案第50号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
議案第52号	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	×	×	○	○	○
議案第53号	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○

保健福祉常任委員会企画

議員研修報告

9月30日、「在宅医療・介護の現状と課題」というテーマで、社会医療法人天神会まどかファミリークリニック院長の加藤光樹先生にご講演をいただきました。

高齢者増加に伴って多死社会に突入することもあり「在宅医療と介護サービスの充足が急務」です。小郡市でも①人材不足②レスパイト入院（介護者が休むための入院）機能の

不足③介護者不足といった課題があることを学ぶことができました。



都市経済常任委員会企画

議員研修報告

高機能環境システム採用の観光農園「いただきいちご園」とスマート農業化を目指し、省力化と環境に配慮した大規模園芸農家「ラッシュユフ

アーム」を現地視察しました。革新的な生産技術に向けて更に取り組まれている姿は大変興味深いものでした。



いただきいちご園



ラッシュファーム

3月定例会の会期日程(予定)

2月25日(火)	本会議(議案上程)	3月10日(月)	総務文教常任委員会
2月27日(木)	本会議(質疑)	3月11日(火)	保健福祉常任委員会
3月3日(月)	予算審査特別委員会	3月12日(水)	都市経済常任委員会
3月4日(火)	予算審査特別委員会	3月17日(月)	本会議(一般質問)
3月5日(水)	予算審査特別委員会	3月18日(火)	本会議(一般質問)
3月6日(木)	予算審査特別委員会(予備日)	3月19日(水)	本会議(一般質問予備日)
		3月24日(月)	本会議(委員長報告と質疑・討論・採決)

編集後記

今議会では、「食料・農業・農村基本計画策定」の予算が計上されています。この計画は、本市の基幹産業である農業が抱える担い手不足や農地の集約化等の現状の中で重要な方針を決めるものです。また、本年6月9日に小郡・鳥栖南スマートインターの開通や筑後小郡インター周辺まちづくり構想に基づく、「新たな魅力創出ゾーン」に11月21日インター出口前にコストコ小郡倉庫店が開業したことにより今後の本市の農業の拠点である宝満川左岸地区の交通及び物流、農産物の集積などに大きく寄与するものと考えております。

(内山 伸博)

議会広報特別委員会

- 委員長 佐藤 源
- 副委員長 川野 悦子
- 委員 内山 伸博
- 委員 甲斐田 典彦
- 委員 立山 稔
- 委員 山田 忠